

# 平成27年度 奥多摩町当初予算(案)の概要

## 1. 予算編成方針

平成27年度の予算は、町税が漸減するなど依然として厳しい財政状況下にあります。第5期長期総合計画がスタートする年度です。町では以下の考え方を基本として予算編成を行いました。

(1) 社会経済情勢を見極め、限りある財源を計画的、重点的に配分して、住民福祉の増進と少子化・若者定住化対策をさらに推進し、個性的で活力のある地域社会を将来に亘って持続させるため、長期総合計画「おくたま魅力発信計画」の実現を目指します。

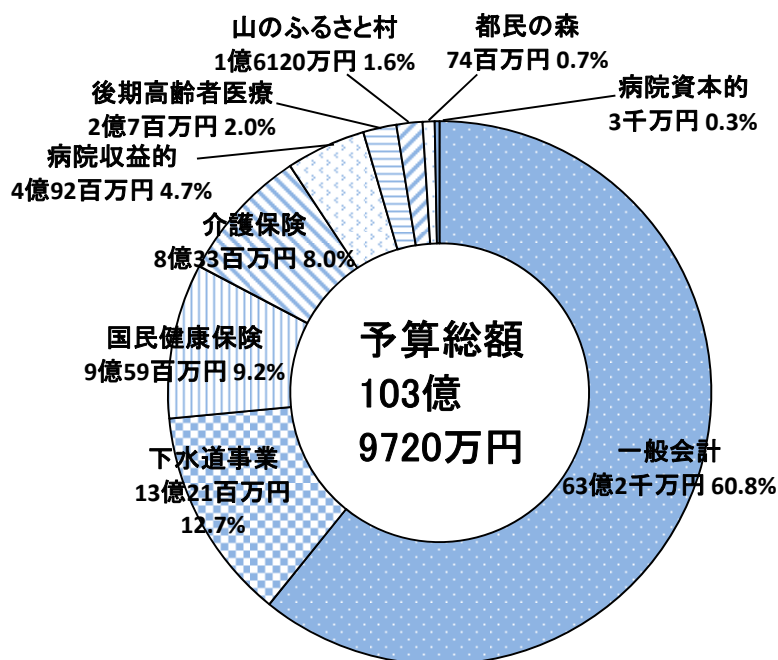
(2) 成果を重視した行政改革の推進、時代に対応した柔軟な行政組織と職員の育成並びに費用対効果を含めた事業全般の事後検証の強化と制度や事務事業の必要性や有益性を吟味し、必要な見直し・再構築を図るなど、身の丈にあった健全で堅実な行財政運営を推進します。

## 2. 会計別予算

(単位:千円、%)

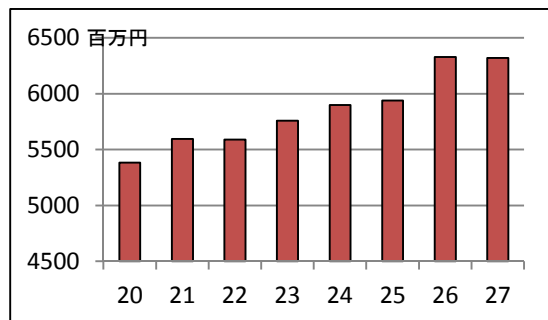
区分	平成27年度	構成比	平成26年度	構成比	増減額	増減率		
一般会計	6,320,000	60.8	6,330,000	62.0	△ 10,000	△ 0.2		
特別会計	都民の森管理運営事業	0.7	0.6	68,500	0.6	5,500	8.0	
	山のふるさと村管理運営事業	1.6	1.6	161,200	1.6	0	0.0	
	国民健康保険	9.2	8.5	865,000	8.5	94,000	10.9	
	後期高齢者医療	2.0	2.0	206,000	2.0	1,000	0.5	
	介護保険	8.0	8.3	845,000	8.3	△ 12,000	△ 1.4	
	下水道事業	12.7	11.9	1,212,000	11.9	109,000	9.0	
	小計	34.2	32.9	3,357,700	32.9	197,500	5.9	
病院事業会計	収益的予算	4.7	4.9	492,000	4.9	△ 8,000	△ 1.6	
	資本的予算	歳入	0.1	0.1	10,000	0.1	1,460	17.1
		歳出	0.3	0.2	30,000	0.2	2,000	7.1
	小計(歳出)	5.0	5.1	522,000	5.1	△ 6,000	△ 1.1	
合計	10,397,200	100.0	10,215,700	100.0	181,500	1.8		

### 全会計の予算額及び構成比について



前年度との比較において、一般会計は0.2%の微減ですが、2年連続で60億円超の大型予算となりました。特別会計では、国保、下水道会計で10%前後の伸びを示しています。これらの要因により、全会計総額では前年度比1.8%増の103億9720万円となりました。

### 3. 一般会計 当初予算額の推移



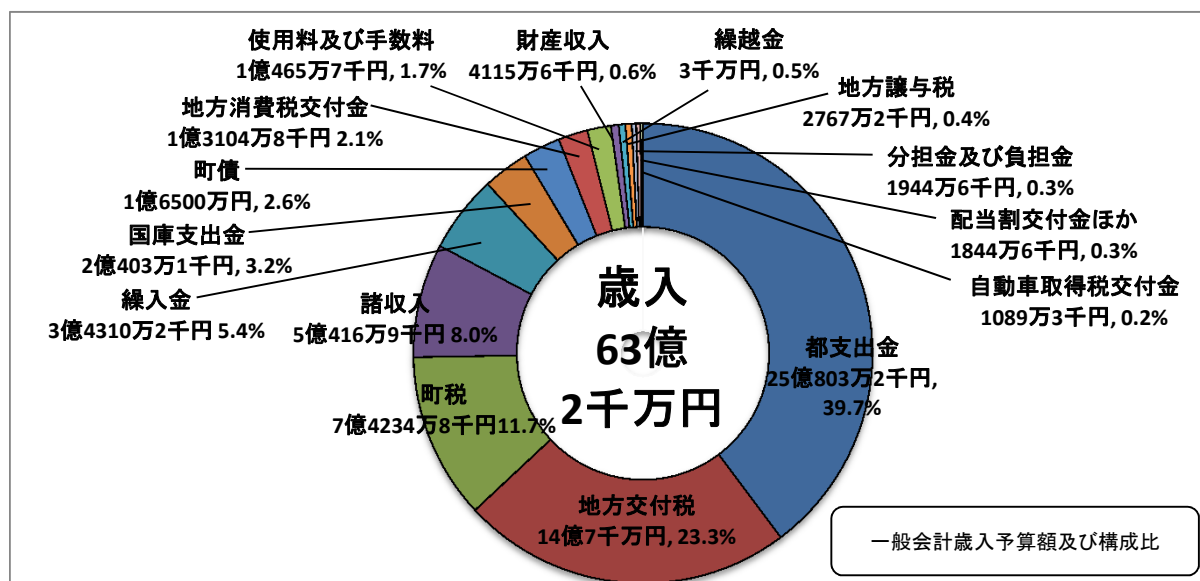
(単位:千円、%)

年度	予算額	対前年度増減額	増減率
20	5,384,000	62,000	1.2
21	5,595,000	211,000	3.9
22	5,590,000	△ 5,000	△ 0.1
23	5,758,000	168,000	3.0
24	5,900,000	142,000	2.5
25	5,940,000	40,000	0.7
26	6,330,000	390,000	6.6
27	6,320,000	△ 10,000	△ 0.2

### 4. 一般会計歳入

(単位:千円、%)

区分	平成27年度	構成比	平成26年度	構成比	増減額	増減率
1 町税	742,348	11.7	764,783	12.1	△ 22,435	△ 2.9
2 地方譲与税	27,672	0.4	28,580	0.4	△ 908	△ 3.2
3 利子割交付金	3,346	0.1	3,852	0.1	△ 506	△ 13.1
4 配当割交付金	6,803	0.1	4,044	0.1	2,759	68.2
5 株式等譲渡所得割交付金	4,197	0.1	3,313	0.1	884	26.7
6 地方消費税交付金	131,048	2.1	81,511	1.3	49,537	60.8
7 自動車取得税交付金	10,893	0.2	9,532	0.2	1,361	14.3
8 地方特例交付金	400	0.0	600	0.0	△ 200	△ 33.3
9 地方交付税	1,470,000	23.3	1,320,000	20.9	150,000	11.4
10 交通安全対策特別交付金	2,000	0.0	2,000	0.0	0	0.0
11 分担金及び負担金	19,446	0.3	20,152	0.3	△ 706	△ 3.5
12 使用料及び手数料	104,657	1.7	101,558	1.6	3,099	3.1
13 国庫支出金	204,031	3.2	138,994	2.2	65,037	46.8
14 都支出金	2,508,032	39.7	2,443,001	38.6	65,031	2.7
15 財産収入	41,156	0.6	40,637	0.6	519	1.3
16 寄付金	1,700	0.0	1,700	0.0	0	0.0
17 繰入金	343,102	5.4	672,902	10.6	△ 329,800	△ 49.0
18 繰越金	30,000	0.5	80,000	1.3	△ 50,000	△ 62.5
19 諸収入	504,169	8.0	445,841	7.0	58,328	13.1
20 町債	165,000	2.6	167,000	2.6	△ 2,000	△ 1.2
合計	6,320,000	100.0	6,330,000	100.0	△ 10,000	△ 0.2



## 5. 歳入の主な増減

### (1) 町税 2.9%減

前年度に比べ、法人税割、軽自動車税、入湯税では増額見込としていますが、その他の税目では、納税義務者の減や家屋の評価替えに伴う減などにより、町税全体では22百万円ほどの減額となっています。

### (2) 地方消費税交付金 60.8%増

消費税率の引き上げから1年が経過し、本来の交付額が市町村に交付される見通しにより、49百万円ほどの増額となっています。

### (3) 地方交付税 11.4%増

普通交付税については、ここ数年12億円としていましたが、近年の交付実績等を考慮し、平成27年度当初予算では1.5億円の増額としています。

### (4) 国庫支出金 46.8%増

臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金は、平成27年度も実施されますが総額としては減額実施(△20百万円)となります。また、社会保障・税番号制度の実施に伴う各種システム整備費補助金が44百万円ほどの皆増、女夫橋補修工事の実施に伴う社会資本整備総合交付金が31百万円ほどの皆増となり、国庫支出金全体では65百万円ほどの増額となっています。

### (5) 都支出金 2.7%増

東京都市町村総合交付金については、ここ数年14億円としていましたが、近年の交付実績等を考慮し、平成27年度当初予算では5千万円の増額としています。なお、都支出金全体では65百万円ほどの増額となっています。

### (6) 繰入金 49.0%減

前年度は、継続事業である鳩の巣荘建設事業費に多額の積立基金を充当しましたが、平成27年度当初予算では、普通交付税及び東京都市町村総合交付金を増額したことにより、繰入金(取り崩し)額を抑制し、3.3億円ほどの減額となっています。

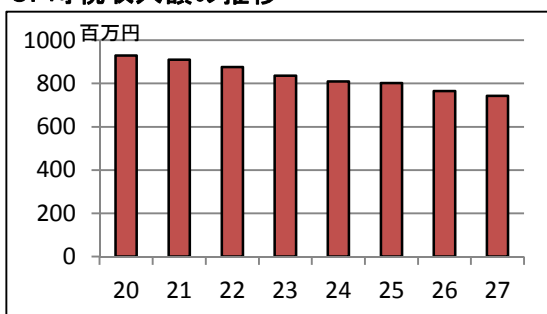
### (7) 繰越金 62.5%減

前年度は、一般会計の予算規模の大幅増により、歳入不足を補完する意味から見込増の予算としました。平成27年度予算では、これを平年ベースに戻したため、5千万円の減額となっています。

### (8) 諸収入 13.1%増

諸収入のなかで大きな割合を示す、花粉症発生源対策事業受託収入及び多摩の森林再生事業受託収入の増により、諸収入全体では58百万円ほどの増となっています。

## 6. 町税収入額の推移



※ 各年度当初予算額の推移です。

(単位:千円、%)

年度	予 算 額	対前年度増減額	増減率
20	930,043	△ 5,800	△ 0.6
21	909,873	△ 20,170	△ 2.2
22	875,876	△ 33,997	△ 3.7
23	835,950	△ 39,926	△ 4.6
24	809,686	△ 26,264	△ 3.1
25	802,184	△ 7,502	△ 0.9
26	764,783	△ 37,401	△ 4.7
27	742,348	△ 22,435	△ 2.9

## 7. 一般会計歳出

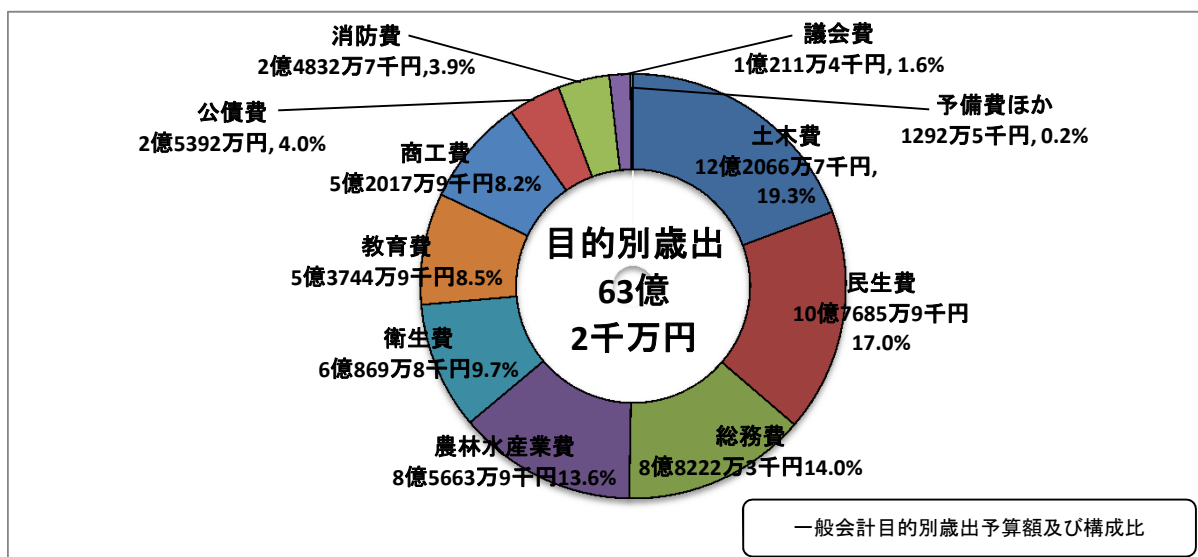
歳出予算の内容を分類する方法として、目的別と性質別があります。

①使われるお金を行政目的(福祉のため、観光振興のため、教育のためなど)に着目し、分類したものが「目的別」、②使われるお金を経済的な性質(物を購入する、給与を支払う、工事を発注するなど)に着目し、分類したものが「性質別」となります。

### ①<目的別>

(単位:千円、%)

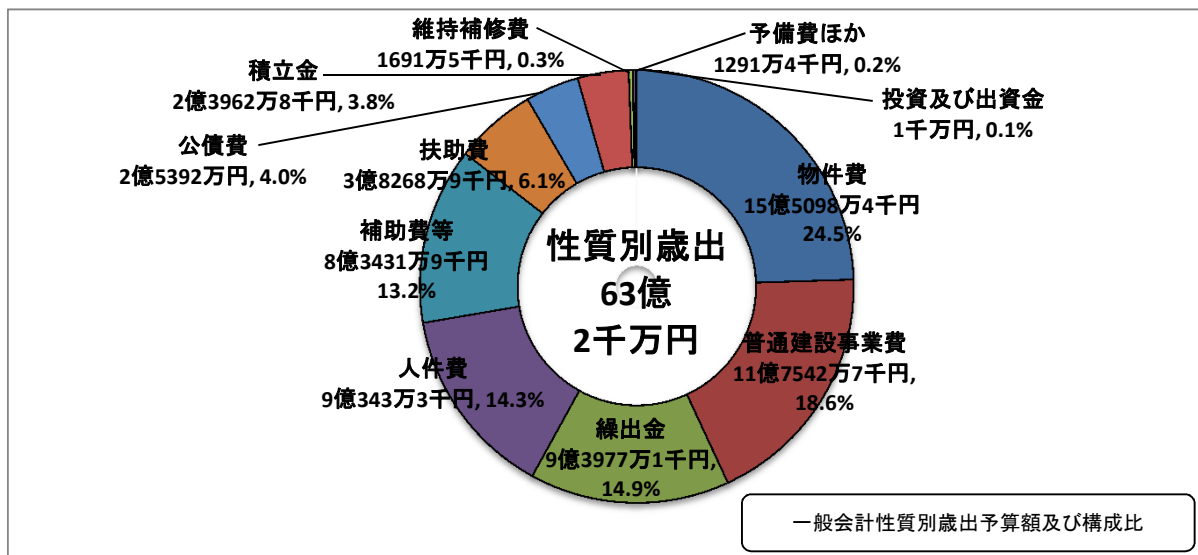
区分	平成27年度	構成比	平成26年度	構成比	増減額	増減率
1 議会費	102,114	1.6	96,292	1.5	5,822	6.0
2 総務費	882,223	14.0	681,334	10.8	200,889	29.5
3 民生費	1,076,859	17.0	1,117,588	17.7	△ 40,729	△ 3.6
4 衛生費	608,698	9.7	602,616	9.5	6,082	1.0
5 労働費	0	0.0	0	0.0	0	
6 農林水産業費	856,639	13.6	769,425	12.2	87,214	11.3
7 商工費	520,179	8.2	1,166,114	18.4	△ 645,935	△ 55.4
8 土木費	1,220,667	19.3	816,790	12.9	403,877	49.4
9 消防費	248,327	3.9	218,695	3.4	29,632	13.5
10 教育費	537,449	8.5	556,407	8.8	△ 18,958	△ 3.4
11 災害復旧事業費	464	0.0	450	0.0	14	3.1
12 公債費	253,920	4.0	277,820	4.4	△ 23,900	△ 8.6
13 諸支出金	12	0.0	12	0.0	0	0.0
14 予備費	12,449	0.2	26,457	0.4	△ 14,008	△ 52.9
合計	6,320,000	100.0	6,330,000	100.0	△ 10,000	△ 0.2



### ②<性質別>

(単位:千円、%)

区分	平成27年度	構成比	平成26年度	構成比	増減額	増減率
1 人件費	903,433	14.3	901,941	14.2	1,492	0.2
2 物件費	1,550,984	24.5	1,517,143	24.0	33,841	2.2
3 維持補修費	16,915	0.3	14,603	0.2	2,312	15.8
4 扶助費	382,689	6.1	375,807	6.0	6,882	1.8
5 補助費等	834,319	13.2	806,034	12.7	28,285	3.5
6 普通建設事業費	1,175,427	18.6	1,446,798	22.9	△ 271,371	△ 18.8
7 災害復旧事業費	464	0.0	450	0.0	14	3.1
8 失業対策事業費	0	0.0	0	0.0	0	
9 公債費	253,920	4.0	277,820	4.4	△ 23,900	△ 8.6
10 積立金	239,628	3.8	42,874	0.7	196,754	458.9
11 投資及び出資金	10,000	0.1	7,000	0.1	3,000	42.9
12 貸付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
13 繰出金	939,771	14.9	913,072	14.4	26,699	2.9
14 予備費	12,449	0.2	26,457	0.4	△ 14,008	△ 52.9
合計	6,320,000	100.0	6,330,000	100.0	△ 10,000	△ 0.2



8. 歳出の主な増減<目的別を基礎に示します。()内は性質別分類です。>

(1) 議会費 6.0%増

議員共済組合負担金(人件費)で、455万円ほどの増があり、議会費全体では582万円ほどの増額となっています。

(2) 総務費 29.5%増

新規に庁舎建設基金(積立金)が1億円の皆増、前年度一時的に積立を見送った減債及び公共施設整備基金(積立金)で9千万円ほどの増、社会保障・税番号制度実施に伴うシステム改修費(物件費)で5千万円ほどの増があり、総務費全体で2億円ほどの増額となっています。なお、白丸生活館建設工事(普通建設事業費)は事業完了により33百万円の皆減となっています。

(3) 民生費 3.6%減

介護老人福祉施設運営助成金(補助費等)が22百万円の皆減、臨時福祉給付金(補助費等)は実施されますが18百万円の減、子ども・子育て新制度対応システム導入委託(物件費)が事業完了により17百万円の皆減となっています。また、少子化・定住化対策事業助成金(補助費等)は事業の拡充等により2千万円ほどの増となっていますが、民生費全体では4千万円ほどの減額となっています。

(4) 衛生費 1.0%増

クリーンセンター煙突解体工事(普通建設事業費)が25百万円ほどの皆増、西秋川衛生組合負担金・分賦金(補助費等)が合わせて12百万円ほどの増となっています。また、ごみ収集トラック(普通建設事業費)が事業完了により11百万円ほどの皆減、病院会計補助金(補助費等)が1千万円の減となっていますが、衛生費全体では6百万円ほどの増額となっています。

(5) 農林水産業費 11.3%増

花粉症対策作業委託(物件費)が52百万円ほどの増、丹三郎寸庭線林道改良工事(普通建設事業費)が2千万円の皆増、平石橋水管橋調査・工事負担金(補助費等)が18百万円ほどの皆増となっています。また、大丹波線林道改良工事、君平線林道改良工事(普通建設事業費)は合わせて28百万円の減となっていますが、農林水産業費全体では87百万円ほどの増額となっています。

#### (6) 商工費 55.4%減

氷川キャンプ場内排水設備等接続工事(普通建設事業費)が33百万円の皆増、前年度一時的に積立を見送った観光施設等整備基金(積立金)が3千万円ほどの増となっていますが、鳩の巣荘建設事業費(普通建設事業費、物件費)で7億14百万円ほどの減があり、商工費全体では6億45百万円ほどの大幅な減額となっています。

#### (7) 土木費 49.4%増

小丹波地内若者住宅建設事業費(普通建設事業費)が2億85百万円の皆増、女夫橋補修工事(普通建設事業費)が56百万円ほどの皆増、都補助道路新設改良事業費(普通建設事業費)が36百万円ほどの増、下水道特別会計繰出金(繰出金)が2千万円ほどの増となっており、土木費全体では4億3百万円ほどの大幅な増額となっています。

#### (8) 消防費 13.5%増

耐震性貯水槽設置工事(普通建設事業費)が2千万円の皆増、土砂災害ハザードマップ作成業務委託(物件費)が1千万円の皆増、消防・救急無線受令機が561万円の皆増となっており、消防費全体では29百万円ほどの増額となっています。なお、消防団員用ヘルメット購入(物件費)は事業完了により372万円の皆減となっています。

#### (9) 教育費 3.4%減

主に中学校の統合に伴う予算で変動があり、中学校統合事業費を含む学校管理費では66百万円ほどの減ですが、教育振興費ではタブレット端末等購入(物件費)が9百万円ほどの皆増、遠距離通学費補助(補助費等)が4百万円ほどの増となっており、ここで13百万円ほどの増となっています。小学校では氷川小校庭芝生化整備事業(普通建設事業費、物件費)が事業完了により22百万円の皆減となっています。また、社会教育費では海外音楽交流派遣事業委託(物件費)が7百万円の皆増などがあります。教育費全体では18百万円ほどの減額となっています。

#### (10) 公債費 8.6%減

一般会計における公債費(公債費)は、借り入れを抑制しているため、順調な償還が続いており、前年度と比較して24百万円ほどの減額となっています。なお、下水道会計における公債費は、増額の傾向となっています。

### 9. 第5期奥多摩町長期総合計画の分類に基づく主な事業

#### ○ 第1章 みんなで支えるホットなまちづくり

(単位:千円)

・ 少子化定住化対策事業費(保育園保育料、学校給食費、若者定住応援の助成、高校生等通学定期代、入園・入学・進学への支援など)	68,550
・ 子ども家庭支援センター事業費(ファミリーサポートセンター事業費含む)	35,763
・ 予防費(保健推進活動、定期予防接種、各種検診、食育推進など)	45,195
・ 心身障害者福祉費(町単独福祉手当給付、障害者総合支援事業など)	159,685
・ 社会福祉協議会補助事業費	25,344
・ 老人福祉費(高齢者見守り相談、外出支援サービス、介護保険事業(繰出金)、後期高齢者医療事業(繰出金)、人にやさしい道づくり整備事業など)	384,720

・奥多摩病院事業費(病院事業会計(収益的及び資本的)予算)	522,000
・臨時福祉給付金事業費	6,200
・子育て世帯臨時特例給付金事業費	1,600

## ○ 第2章 やさしさ ふれあい 人と自然

・下水道整備事業(奥多摩処理区整備を含む下水道事業特別会計)	1,321,000
・多摩の森林再生事業費(森林間伐作業委託など)	234,268
・花粉症発生源対策事業費(花粉症対策作業委託など)	208,206
・林道治山費(都補助林道の開設(名坂線)及び改良(イヤ入、大丹波線、丹三郎寸庭線)工事など)	143,532
・道路新設改良費(都補助及び町単独道路新設改良事業。一付線、松葉穴沢線、白丸丸の内西線、南平熊沢線、坂下中井戸線、入屋ヶ谷中央線は新設。八桑寺前線は改良など)	235,450
・消防費(消防・救急無線受令機購入、小型動力ポンプ購入、耐震性貯水槽設置工事、地域備蓄用食糧購入、土砂災害ハザードマップ作成業務委託など)	248,327
・秋川斎場組合負担金(施設整備負担金含む)	67,543
・ごみ処理事業費(ごみ収集・分別業務委託、最終処分場整地整備工事、煙突解体工事、資源回収活動奨励金、西秋川衛生組合負担金など)	205,743
・し尿処理事業費(し尿処理委託、西秋川衛生組合分賦金など)	74,572
・バス路線維持対策費補助金	50,000

## ○ 第3章 町の中と外から関心を持たれるまちづくり

・教育指導費(教育支援員賃金、学校図書館支援員賃金、言語能力向上推進事業補助金、オリンピック教育推進校事業補助金など)	34,237
・小学校教育振興費(学習支援システム使用料、遠距離通学費補助、基礎学力を育む交付金、宿泊体験学習補助金など)	9,229
・小学校建設事業費(教室等木質化整備事業、古里小キュービクル増設工事、緊急地震速報装置設置工事など)	33,074
・奥多摩中学校管理費及び教育振興事業費(校外学習等補助など)	13,814
・中学校教育振興費(タブレット端末及び周辺機器購入、遠距離通学費補助、生徒修学旅行補助、基礎学力を育む学校づくり交付金、部活動支援補助金、プロジェクトアドベンチャー体験補助金など)	23,084
・中学校建設事業費(教室等木質化整備事業、生徒用トイレ改修工事、キュービクル増設工事など)	28,150
・教育文化振興事業費(海外音楽交流派遣事業委託、海外派遣及び受入事業補助金、子ども国際交流音楽祭負担金など)	17,282
・青少年対策事業費(放課後子供教室委託、神津島洋上セミナー負担金など)	3,364
・文化財保護事業費(指定文化財等整備事業補助金など)	8,606
・水と緑のふれあい館事業費	81,356
・町制施行60周年記念60キロウォーク運営委託	3,500

## ○ 第4章 みんなの力がつながる観光・産業づくり

・鳩の巣荘建設事業費(継続事業の最終、第3事業年度)	165,778
・観光施設整備事業費(大沢駐車場トイレ設計委託、氷川キャンプ場内排水設備等接続工事など)	39,500
・観光総務費(町民宿泊補助事業委託、鳩の巣荘完成記念事業業務委託、日本鍾乳洞サミットin奥多摩業務委託、観光情報誌作成など)	76,880
・小口事業資金融資事業費(利子補給金など)	5,565
・森林セラピー事業費(森林セラピーPR事業委託など)	33,097
・木質バイオマス推進事業費(木質バイオマス集積所運営管理業務委託など)	4,056

・農作物有害鳥獣対策事業費(緊急捕獲委託、狩猟免許取得補助など)	32,548
・農業振興費(食肉処理加工施設管理運営委託、山葵田用モノレール設置事業補助、体験農園管理運営事業など)	29,477
・山のふるさと村管理運営事業費(特別会計予算)	161,200
・都民の森管理運営事業費(特別会計予算)	74,000

○ 第5章 住民と行政がともに考え、ともに築く、住みよい・住みたいまちづくり

・小丹波地内若者住宅建設事業費(造成工事、住宅建設工事など)	285,000
・宅地分譲及び空家活用業務委託	3,200
・町制施行60周年記念事業負担金	10,000
・まちづくりアンケート調査業務委託	1,000
・地域振興対策事業費(元気なまちづくり推進事業交付金など)	3,772
・財産管理費(公共施設等総合管理計画策定業務委託、寄付物件解体整備工事など)	27,670
・地籍調査事業費(棚沢東地区地籍調査委託など)	43,905
・戸籍住民基本台帳費(戸籍電算システム更新業務委託、窓口カウンター備品購入など)	37,665
・社会保障・税番号制度費(情報システム機構関連事務交付金など)	2,607
・電子計算開発費(社会保障・税番号制度用システム改修など)	54,954
・広報費(広報おくたま発行、ホームページ運用支援委託、多摩島しょPR番組制作負担金など)	16,598
・職員研修費(職員研修所負担金、接遇研修委託など)	3,753
・議会運営費(議員報酬、議会だより発行など)	90,198
・町議会議員選挙費	9,452
・国勢調査費	4,500

10. (参考)国の一般会計及び地方財政計画

(単位:億円、%)

区分	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
1 国の一般会計	963,420	958,823	4,597	0.5
2 地方財政計画	852,700	833,607	19,093	2.3

11. (参考)東京都の予算

(単位:億円、%)

区分	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
1 一般会計	69,520	66,667	2,853	4.3
2 特別会計	47,045	42,694	4,351	10.2
3 公営企業会計	22,140	24,033	△ 1,893	△ 7.9
合計	138,705	133,394	5,311	4.0